令和元年度 杉並区立桃井第五小学校 第１回 学校運営協議会議事録

1　開催日時

日時：平成３１年　４月１９日（金）１８：００～１９：３０

場所：桃井第五小学校解放会議室

2　出席者

大澤 学校運営協議会会長、丸山 委員、津吹 委員、石井 委員、唐澤 委員、伊藤 委員、近藤 委員、山岸 委員、木内 委員、川田 学校長、日向 副校長

3　協議内容

3.1　令和元年度 人事体制の報告

・転出・転入者の報告（校長から）

・転入教職員から挨拶（副校長・鈴木・今田・丸山・石川）

3.2　令和元年度 学校経営計画について

・日常生活からたくましさを育てる。みんなに学校に来てもらい、欠席児童０人の日を作りたい。不登校児童・長期欠席児童がいない学校にしたい。

・８５周年、お祝いの年である。

・幼保小連携、最後の年。スタートカリキュラムの実施を着実に。

・初任者４名を育てる。

3.3　新年度の様子について

各学年担当の先生と専科の先生より学校内の様子について報告を受けた。

- １年生は、３クラス９８名でスタート。初めてのことばかりだが、子ども達はもの凄いスピードで色々なことを経験している。荷物運びや給食も自分たちでやりはじめ、１年生だからではなく１年生でもできるところを見せていきたい。「わかった、できた、楽しい一年」をモットーに、１年生なりの自立を目指していきたい。
- ２年生は、下級生ができたこともあり１年生との交流も含めて張り切っている。張り切っている反面、頑張りすぎている部分もあり、流行り病も重なって体調面で崩れている部分も見え始めた。先生同士の連携もまだ一週間ながらチームワークを育てながら深めていっている。
- ３年生は、はじめてのクラス替えで、子ども達も最初は緊張し手探り状態ながら友達作りに頑張っていた。３年から専科の理科・社会が始まり、屋上で学校の周りを見学したが、初めて屋上に出たこともあり大興奮していた。理科でも近所の自然巡りを行い実際に行ってみたり、触ってみたり経験をさせながら、子供たちのワクワクを引き出させたい。
- ４年生は、「心を一つに、輝く四年」をキャッチフレーズに頑張っている。さっそく学年遠足で日和田山に電車で往復３時間強かけて行き、子ども達も元気でやり切った様子がみられ、大きなケガもなく進めることができた。遠足後の振り返りで電車の中はもう少し静かにという課題も出たが、失敗も想定しつつ高学年に向けて、色々な経験やアドバイスをしながら１年か頑張っていきたい。

- ５年生は、１０１名、明るく元気で素直な子ども達という印象。高学年ということもあり委員会活動も始まった。学年として、長縄を学年全体で取り組もうという目標をたてたので、子ども達、先生合わせ全体で頑張っていきたい。
- ６年生は、最高学年でもあり「見つめよう、作り上げよう、桃五プライド Grow Up」を学年テーマに、憧れられる最高学年になれるよう、大人に成長していこうという目標をたてた。子ども達だけでなく、先生も Grow Up できるように頑張っていきたい。
- 専科は、子ども達の色々な発見を促し、専科の知識を活かしつつ、良いところを繋げられるよう専科の先生の中でも様々な情報交換をしながら子ども達をサポートしていきたい。

3.4　新たな取り組みの様子を受けて

今年度から始めた新たな取り組み「朝遊び」の様子について報告を受けた。

- 地域の方が毎日５、６人来てもらって見守りを実施しており、参加人数は全校生徒の３分の１程度の参加人数となっている。
- 最初は終了時に昇降口に児童が一斉に駆け込み混雑、混乱してしまう状況だったが、見守り隊や先生方の声掛けやサポートもあり高学年を中心にスムーズな移動ができるようになってきている。
- 本施策の効果が今後どうでるかは経過観察していきたい。
- 来週から放課後居場所として校庭を活用していくことになる。監視体制は、常時１５人程度は確保できている。ただし、雨天時の運用などを含め児童の安全を第一に協議を継続して考慮する必要がある。
- 新年度の最初の協議会ということで、各協議会委員の思いを一言ずつ頂いた。

4　次回の開催日程

令和元年　５月１７日（金）１８：００～